

報道関係者各位

株式会社ペイロール

2025 年 9 月 19 日

株式会社ペイロールの給与計算業務アウトソーシングサービス
「HR BPaaS」と
株式会社カオナビのタレントマネジメントシステム
「カオナビ」との API 連携を開始

株式会社ペイロール（本社：東京都江東区、代表取締役社長：湯浅哲哉、以下：ペイロール）が提供する大企業向け給与計算業務アウトソーシングサービス「HR BPaaS（エイチアールビーパース）」と、株式会社カオナビ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO：佐藤寛之、以下：カオナビ）が提供するタレントマネジメントシステム「カオナビ」との API 連携（※1）を正式に開始いたしました。これにより「カオナビ」とのシームレスなデータ連携が可能となり、企業の人事・労務業務における効率化・DX 推進をさらに強力に支援いたします。



■協業の概要

2025 年 6 月 30 日でのプレスリリースにてカオナビ社との協業を開始し API 連携の実現を目指してまいりましたが、この度基本情報をペイロール社の HR BPaaS から「カオナビ」に連携できるようになりました。

連携対象項目：	組織マスタ、社員番号、氏名、フリガナ、性別、生年月日、メールアドレス、入社日、退職日、所属、兼務 ※増やす事ができます
連携頻度：	HR BPaaS で処理された申請や発令に連動し、自動的に対象のデータが日次で連携されます

これまでは組織や人事情報を連動させるためのデータ加工に時間を要する case ありましたが、今回の API 連携により異なるシステム間でのデータのやり取りをシームレスかつ効率的に行うことが可能となり、業務プロセスの大幅な効率化と人為的な作業ミスの解消に貢献できるようになります。

なお、ペイロール社の開発においては MCP（Model-Connected Protocol）を活用した AI によるデータ連携を実現しております。

MCP は、AI モデルとデータベースをつなぐための新しい標準的なプロトコルであり、従来は難しかった AI によるリアルタイムかつ安全なデータアクセスを可能にします。

今回の実装では、AI がデータの正確性や整合性を自動で検証し、従来のシステム連携に比べて大幅に人的負担を軽減しました。また、将来的にはペイロール社が展開する各種サービスや外部パートナーのシステムとも連携し、より高度な業務自動化や意思決定支援を可能にすることを目指します。

■今後の展望について

「カオナビ」との API 連携開発は今回にとどまらず、今後はお客様固有のカスタマイズ項目も対象にした幅広い連携や、「カオナビ」から HR BPaaS への連携などあらゆるケースを想定した開発の拡張を進めてまいります。

■株式会社カオナビについて

2008 年 5 月 27 日設立。タレントマネジメントシステムのリーディングカンパニーとして、「“はたらく”にテクノロジーを実装し、個の力から社会の仕様を変える」と

いうパーパスの下、テクノロジーによって一人ひとりの個性やスキルを理解することで、キャリアの自律や多様な働き方ができる社会を目指しています。

利用企業数 4,000 社以上（※2）のタレントマネジメントシステム「カオナビ」をはじめ、労務管理システム「ロウムメイト」や予実管理システム「ヨジツティクス」などを提供し、企業や団体の経営戦略・人材戦略の実現に貢献しています。

■株式会社ペイロールについて

1989 年 4 月 1 日設立。創業以来、主に大手企業を対象として給与計算業務の BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）を提供しており、260 社 112 万人（2024 年 3 月末時点）の給与計算業務を受託しています。ペイロールの汎用型給与計算サービス「HR BPaaS（エイチアールビーパース）」は、独自開発したクラウド人事給与ソフトと給与計算 BPO を統合したサービスで、お客様固有の複雑な給与計算ロジックに対応しつつ、全てのお客様で共通する業務の標準化を推し進めることで、高い柔軟性と拡張性を併せ持っているところが特徴です。

労働人口が不足していく日本において、ペイロールは、人事部が抱える専門性の高いオペレーション業務を担うソフトインフラ企業となり、人事部がより戦略的な業務に注力できる環境を支えます。

※1 API（アプリケーション・プログラミング・インターフェース）を使ってアプリケーション間やシステム間でデータや機能を連携し、利用できる機能を拡張すること。

※2 2024 年 12 月末時点

【お問い合わせ窓口】

株式会社ペイロール

営業企画部

sales@payroll.co.jp

TEL: 03-5520-1380